

事業タイプ・類型	デジタル実装型 (TYPE1)	期間中の総事業費	14,156千円
目的 (効果)	<p>県内児童相談所が対応した虐待相談対応件数は、2013年度以降、11年連続で過去最多を更新しており、適切な相談対応により個々の子どもや家庭に効果的な援助を行うことがこれまで以上に求められている。そこで、AIを活用した児童相談システムにより、児童相談の質の向上を図り、地域住民に対する迅速かつ的確な援助を実現する。</p>		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年度事業費	<p>○AI相談対応システム調達業務委託 (14,156千円) (委託料) (委託先：株式会社アイネス)</p> <p>相談者との会話記録を自動テキスト化し、その記録を生成AIで要約するシステムを導入することで、地域住民に対して迅速な援助を実現する。加えて、制度や必要な支援情報や、確認事項のチェックリストを表示する機能を用いて、職員の力量を問わず、適切な助言を行うことが可能となり、児童相談全体の質の向上を図る。</p> <p>(1) 初期導入費用 (5,066千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該システムを利用するための環境設定、データ設定、職員に対する操作研修等を実施するための費用 <p>(2) リアルタイム変換用専用機器 (2,545千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話での会話内容を自動テキスト化するために必要な機器 (コンバーター、USB切替器等) の調達費用 ・面接時に自動テキスト化を実施する際に使用する外付けマイクセットの調達費用 <p>(3) システム利用料 (6,545千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムに音声をテキスト化するためのライセンス (10ライセンス) 及び音声録音データをテキスト化するためのライセンス (1ライセンス) にかかる費用 ・不正アクセスを防ぎ、セキュリティを確保するためのクライアント証明書の導入費用 ・生成AIオプション機能の利用にかかる費用 <p>※中央児童相談所、土浦児童相談所の2施設にて導入利用</p>		

【実施体制図】

